道徳のかけ橋

令和８年１１月発行
第　３　３　号
福島県教育庁
義務教育課

今ある教育活動をさらにブラッシュアップ

～道徳教育の一層の充実につながる「道徳のスポットライト」～

「子どもの心を育む取組を充実させたい」「次年度の教育課程で本校の特色をさらに生かしたい」。そんな時は、今ある教育活動を道徳の視点で改めて見つめ直してみませんか。「道徳のスポットライト」を当てると、日々の取組が子どもの心を育む深い学びや日常化・自校化へとつながるヒントが見つかります。

次の５点の「道徳のスポットライト」を当てて、あなたの学校ならではの輝きを見つけてみましょう。

子どもの「よさ」を伸ばす

課題に目が向きがちですが、道徳性を養うからこそ「よさや願いをさらに伸ばす」視点が大切です。活動の中で子どものよさが表れ、互いが気付き合える工夫もできます。

自分の生き方を重ねる

地域の魅力や伝統を体験するだけでなく、地域を支える人々の願いや誇りに触れ、自分の生き方と重ねることで、ふるさとを愛し大切にする心を育むこともできます。

「一緒に活動」をチャンスに

特別活動等の異学年での活動や、近隣の他校種の学校や地域・保護者と一緒に活動する機会の中で、多様な考えに触れて視野を広げ、思いやりや感謝の心等を深める学びにつなげることもできます。

「認め励ます」を日常に

授業中だけでなく、教師や友達同士が交わす温かい言葉や校内環境も心の成長につながります。校内掲示や日々の言葉かけを通して、学校全体で認め合うこともできます。

全ての授業で心を育てる

要の道徳科の授業を大切にすることに加えて、他の教科等の特質に応じた指導を心がけながら道徳教育を意識することで、日々の授業全体で心を育むことにつながります。

「どのような子どもを育てるのか？」を全職員で共有し、生き生きと活動する姿を思い浮かべながら、道徳教育の充実を考えていきましょう。



道徳教育の具体的な取組が知りたいです

福島県教育庁義務教育課 HP

「福島県版『道徳教育アーカイブ』」「道徳の礎」をのぞいてみよう

福島県版「道徳教育アーカイブ」
（福島県教育庁義務教育課）

道徳の礎
（道徳教育推進校実施報告書）

「道徳の礎」には、小・中・高校における「その学校ならでは」の特色を生かした道徳教育の取組、「疑問や迷いから逆引きできるページ」、学習指導案等も掲載されています。



例えば、「疑問や迷いから逆引きできるページ」を教職員で読み合い、「チャレンジしてみたいこと」を出し合う研修はどうでしょう。目の前の子ども達の姿を思い浮かべながら、先生方の発想を生かして、道徳教育を一層充実させていきましょう。

令和8年度道徳教育推進校の実践事例から、ヒントをさがしてみよう

福島県立福島明成高等学校



キーワード　「農・食・環境・流通」の学びを通した地域貢献と感謝の心

ねらい　丹精込めて育てた農産物の販売実習を通し、地域の方々と交流することで、働く喜びや感謝の心、地域社会に貢献する態度を育む。

取組の実際　全校行事「春・秋の販売会」にて、生徒主体の生産物・加工品の販売実習を実施した。丁寧な接客に努め、「おいしかった」等の温かい言葉を受ける体験を通し、地域との繋がりや学びの価値を実感した。

取組後の声
子　ど も：自分たちが作った商品を笑顔で購入してもらい、やりがいを感じた。地域貢献の喜びを実感した。
教　　師：地域の方との交流を通し、生徒が生き生きと対話し、勤労の尊さや思いやりの心を学ぶ貴重な機会となった。
地域の方：毎年、生徒さんが心を込めて接客する姿に感動している。

天栄村立広戸小学校



キーワード　「グッジョブ!」の笑顔が咲く、心豊かな広戸の学び舎

ねらい　「ひろとのこ」の優しさを育むため、全校で温かな言葉があふれる環境づくりを進めることができる。

取組の実際　道徳科の授業では、「心に響く言葉」や葛藤を可視化する板書を工夫し、児童一人一人が自分事として深く考え抜く対話を展開している。また、お互いのよさを認め合う「グッジョブツリー」には感謝の言葉が広がっている。さらに家庭や地域応援団と一体となった体験活動を通し、他者を思いやり、未来に向かって自ら学び続ける児童の成長を支えている。

取組後の声
子　ど も：自分で考えたことを友達と話せるのがすごくいい。
教　　師：グッジョブツリーのおかげで、私たちもどの学年の児童も人のよいところに目が向くようになったことが大きい。
地域の方：子どもからもらう「ありがとう」の一言がありがたい。

鮫川村立鮫川中学校



キーワード　郷土愛を育む体験活動でも“考え、議論する道徳”

ねらい　体験活動を通して地域の宝や人々の思いに触れ、郷土を愛する心を育み自己の生き方を多角的に見つめ直す主体的な道徳性を養う。

取組の実際　1年生の「さめがわ未来学」の体験活動において、事前学習で道徳的価値を踏まえた地域の未来像について地域の方々と議論した。生徒はテーマ毎に校外学習を行い、地域の方の思いに触れた。事後には道徳的視点での振り返りや、地域へのアンケートを実施した。

取組後の声
子　ど も：地域の方々が郷土を愛し仕事や伝統を真剣に守っている姿に感動した。自分も村のために貢献できる人となりたい。
教　　師：地域と道徳的価値を共有して連携することで、質の高い議論ができ生徒が郷土愛を実感できる活動となった。
地域の方：子ども達が地域と共に「道徳を学ぶ」ことが大事である。

北塩原村立さくら小学校



キーワード　一人一人を受け止めて認め、励ます評価

ねらい　「個」の学びを見取り、頑張りや変化等を伝え合い、道徳的実践への意欲を高める。

取組の実際　学びの成果を記入したワークシートを道徳コーナーに掲示し、学習状況や道徳性に関わる成長を自分自身、児童同士、全職員、家庭、地域で見取り、頑張りや変化等を伝え合ったり、励まし合ったりした。

取組後の声
子　ど も：友達の頑張っていることやよいところがわかった。みんなにほめられてうれしかった。
教　　師：自分だけでは見取れない、児童のよさや成長を多くの目で見取り、褒め、励ます機会が増えてよかった。
保　護　者：家では見られない姿がわかり、成長を感じた。

いわき市立小川中学校



キーワード　「つながり」を支えに、踏み出す自信へ

ねらい　自校の強みである温かい学校・学級風土を土台として、自己を見つめ直し、よりよく生きようとする生徒を育成する。

取組の実際　①道徳科の授業において多面的・多角的に考えるための話合い活動を設定、②先輩と後輩の縦のつながりを意識した交流活動、③外部講師の講演を聞く機会をもつ等の取組を通して、他者の多様な価値観に触れながら、自己を見つめ直し、よりよく生きようとする生徒を育成する道徳教育を推進してきた。

取組後の声
子　ど も：いろいろな人との関わりから、様々な考え方や生き方があることを知った。
教　　師：取組によって生徒も自分自身も成長を感じられた。
地域の方：地域や学校の行事で、小川中の生徒がいきいきと活動する姿がとても輝いている。これからも応援したい。